

事業計画書

1. 事業名称 家庭用廃食油の回収による地域活性化事業
2. 実施主体
 - 団体名： NPO 法人松戸エコマネー「アウル」の会
 - 事業担当課： 環境計画課、 商工観光課
3. 取り組もうとする課題

現状では家庭用廃食油は燃えるゴミとして排出され、市内の焼却施設で処理されている。

また地域コミュニティの場であった商店街は少子高齢化や大型店の進出により活力がなくなっている。一方 地域通貨「アウル」も会員相互の流通に限られ、地域への展開が不十分である。

そこで家庭用廃食油を回収して、BDF や 石鹼を作り、この事業に協力した市民にお礼として地域通貨「アウル」を配布し、この運動に賛同した協賛商店で 50 アウルで 50 円の割引やサービスを受けられる循環システムを構築する。

それとともに美しいまちづくり、安心、安全なまちづくりに活動しているボランティアにも、ボランティア活動 5 回で 50 アウルを配布して、ボランティア活動への感謝の気持ちとやる気を引き起こし、協賛店で同じように割引やサービスが受けられるようにする。

松戸市が提唱している「もったいない運動」の重点項目である廃食油のリサイクル事業と地域通貨「アウル」をドッキングして、市民の「もったいない運動」への関心を高め、環境意識の高揚を図る。同様に美しいまちづくり、安心、安全なまちづくりに活動しているボランティアにも適用して地域通貨「アウル」の循環の輪を広げ、地域の協賛店と地域住民、ボランティアのつながりを深め、地域商店街の活性化にも貢献することが出来る。

4. 事業内容及びスケジュール

21 年 7 月よりアウル事務局を回収拠点として毎月 2 回の定期回収日を定めて、小金原、八ヶ崎地区をモデルに回収実験を開始した。回収した廃食油は当初は「せっけんの街」で石鹼や BDF に加工した。その後 22 年 2 月より北松戸工業団地内に戸田建設の新しい BDF 生産プラントが稼働し、廃食油はここで BDF に加工されるようになった。

その結果、22 年 9 月までの廃食油の回収実績は 530L、配布した 50 アウル券は 110 枚に達している。廃食油を持参してくれた一般市民は延べ 163 人に達した。

この運動に賛同された地域商店は小金原、八ヶ崎地区で 15 店舗に達し、アウル券の利用が始まっている。

また八ヶ崎地区のスクールガードのボランティアや松戸駅前清掃活動ボランティアにもアウルを配布した。(120 枚)

この一年間のモデル実験を通じて、この運動に賛同して回収拠点として名乗りを上げた企業、商店は本丁、五香、新松戸、矢切、稔台地区等に、約 10ヶ所に達している。

日程	具体的な取り組み	実施体制、対象者、場所など
23/4月～ 24/3月	アウル事務局での回収継続	2回/月の回収（アウル事務局）
4月～5月	ノボリ、ユニフォーム、活動資料 作成（PRチラシ、アウル通貨等）	資料原稿作成、見積、発注 （アウル事務局）
4月～9月	回収拠点への参加呼びかけ スクールガードへの参加呼びかけ	商店、町会、ボランティア団体 との折衝
7月～9月	新しい回収拠点の稼働（2ヶ所） （商店、商店街 町会等） スクールガード（2地区）	PR資料のポスティング （対象地区内全域）
23/9月	町会、協賛商店等との報告交流会	交流、情報交換等
10月～12 月	新しい回収拠点の稼働（2ヶ所） （商店、商店街 町会等） スクールガード（2地区）	PR資料のポスティング （対象地区内全域）
1月～3月	新しい回収拠点の稼働（2ヶ所） （商店、商店街 町会等） スクールガード（2地区）	PR資料のポスティング （対象地区内全域）
24/3月	町会、協賛商店等との報告交流会	交流、情報交換等

5. 事業に期待する成果

23年度は、上記の回収拠点を核にして松戸市内に6ヶ所の回収拠点を開設したい。廃食油の回収は1回収拠点 500L/年を目標に進めて、23年度末にはおよそ2000L/年の廃食油を回収したい。

またスクールガード等の協力ボランティア団体を23年度末には6団体は確保したい。この回収拠点が21年度の一ヶ所から、徐々に面としての広がりを見せることにより、一般市民の関心も深まり、環境意識や助け合いの精神が高揚して、回収拠点を中心とした協賛商店のアウル通貨を使う新規顧客の増加が期待でき、地域経済活性化の端緒になる。

また一般市民がこの回収拠点の企業、商店や協賛店の環境問題への積極的な取り組みに好感を持つことになり、協賛企業、商店のアウル通貨のサービス負担を超えたメリットがあると考えられる。（企業等のイメージアップ）

22年度に先行実施をしている八ヶ崎、小金原の協賛商店では、今までになかった新しい顧客の来店があり、企業イメージの向上等のメリットもあることから、この運動に対して前向きな意欲が感じられる。

6. 協働の意義

このような活動を松戸市民に広く浸透させるには「アウル」の会だけでは限界がある。「もったいない運動」の重点事業として家庭の廃食油の回収リサイクル事業が認定され、地域通貨「アウル」がこの推進ツールとされている。

さらに松戸市の関係課との協働事業として推進出来れば、一般市民、ボランティア団体、商店、商店街へのPR活動が容易になり信頼が得られる。また廃食油の回収が軌道に乗れば、松戸市が推進している減CO2活動にも寄与する事となる。

7. 事業実施の役割分担

■ 提案者の役割

家庭用廃食油回収拠点の拡大

- ①廃食油回収拠点として協力してくれる企業・商店、商店街、町会等の発掘
- ②廃食油回収拠点としての用具類の整備（回収タンク、ノボリ、チラシなどPR用具）
- ③アウル通貨の印刷（10アウル券、50アウル券）
- ④アウル通貨が使える協賛商店の募集

ボランティア団体の獲得

スクールガード等の活動団体に参加を求める。

■ 担当課の役割

環境計画課

廃食油回収システムのPRを図り、松戸市全域にこの運動を拡大させて多くの市民の参加を呼びかける。松戸市として、周期的な広報活動を積極的に推進する。

商工観光課

回収拠点の周辺の商店、商店街に対し、本事業の趣旨を理解していただき、アウル通貨の使用が出来る協賛店への参加促進をアウルの会との連携の中で積極的にバックアップする。

8. 将来の展開

① 廃食油回収事業の松戸全市への展開

段階的に回収拠点を拡大していく。企業、商店、町会・自治会などの賛同を得て、回収拠点を松戸市全市に展開していく。これにより省資源、省エネルギー社会の構築を目指す。

また地域通貨「アウル」の循環枚数を増やし地域商店の活性化にも資することができる。

②地域通貨「アウル」の拡大

松戸市安全で快適なまちづくり条例」に関するボランティア団体の協力を得て「アウル」の循環の輪を広げていきたい。

そのため松戸市全域の防犯パトロール、スクールガードや公園、河川の清掃ボランティアにも「アウル」の配布を拡大していきたい。

家庭用廃食油回収を核にして、多くの市民の参加を得て、地域通貨「アウル」の循環を拡大することにより、市民と商店、ボランティアの連携が深まり、地域への愛着・貢献が図られ、明るい住みよい循環型の松戸市が出来るものと考えている。

事業の予算計画

【社会資源持ち寄り（収入）】

（単位：円）

提案者	（自己資金）	金額	積算内訳
			100,000 円
	自己資金合計（a）	100,000 円	
	労力換算額計（b）	500,000 円	労力換算計算書のとおり
市	負担金申請額（c）	500,000 円	
資金合計額（d）（a+c）		600,000 円	事業費（g）と同額

【負担金申請額（c）チェック項目】

1. 対象となる経費（e）欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 50 万円以内
3. 自己資金（a）欄に労力換算額（b）欄を加えた額以下であること。

【事業費の積算（支出）】

	項目	金額	積算内訳
負担金の交付対象経費	廃食用油回収貯蔵用備品 ノボリ、ユニフォーム等	180,000 円	格納拠点 6ヶ所 (格納庫 1、ポリタンク 4) (ノボリ、ユニフォーム)
	活動資料類の作成 (PR チラシ類 (協賛店等資料作成) (アウル通貨の印刷)	365,000 円 (250,000) (15,000) (100,000)	12. 5 円 × 1 万枚 × 2 回 100 円 × 50 枚 × 3 回 20,000 枚
	調査交流費	20,000 円	交流、報告会
	対象となる経費合計額（e）	565,000 円	
その他経費	スタッフ飲食費用	15,000 円	
	スタッフの交通費	20,000 円	
	その他経費合計額（f）	35,000 円	
事業費（g）（e+f）		600,000 円	収入合計額（d）と同額

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

労力換算計算書

(単位：円)

	項 目	換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間×回数×500円
	事務局廃食油回収人件費	180,000円	3名×5hr×24回/年×500円
	PR資料のポスティング	60,000円	1名×40hr×3回/年×500円
	協賛店への報告書作成	30,000円	2名×10hr×3回/年×500円
	PR資料類の原稿作成	20,000円	2名×10hr×2回/年×500円
	「アウル」通貨印刷デザイン	10,000円	2名×10hr×1回/年×500円
	商店、町会、ボランティア 団体との折衝	200,000円	2名×20hr×10回×500円
	合計 (b)	500,000円	